

あらゆるブロックチェーンからドメインを管理するはじめてのDNSになるRIF 名称サービス (Name Service)

RIF 名称サービス (Name Service) マルチ暗号 (Multi-Crypto) により、ユーザーは1つのマスターダッシュボードからすべてのドメインを管理し、使い勝手を合理化し、ブロックチェーンテクノロジの大量採用を促進することができます。

ジブナルタル - 6月 11日 2019

RSK スマート・コントラクト・ネットワーク (Smart Contract Network) と RSK インフラストラクチャフレームワーク (Infrastructure Framework) OS (RIF OS) プロトコルの開発を専門とする IOV Labs は、本日、RIF ネームサービスマルチ暗号 (Multi-Crypto) を開始しました。業界初の、改良された RIF ネームサービス (RNS) は、あらゆるブロックチェーンを起点とするドメインをサポートおよび管理する唯一のサービスです。以前は、RNS は RSK ネットワーク上に構築されたアドレスしかサポートできませんでしたが、新しいアップグレードでは、ドメイン所有者は自分のドメインを RNS アーキテクチャに統合して1つのマスターダッシュボードから管理でき、分散したドメイン所有権を合理化できます。発表の一環として、マルチ暗号 (Multi-Crypto) 管理をサポートするベータ版の RNS マネージャーの新しいバージョンが、<https://beta.manager.rns.rifos.org> で利用可能です。

RNS は、一連のランダムな文字と数字として表示される従来のブロックチェーンドメインを名前や覚えやすい単語などの人間が読める形式に変換することで複雑さとミスを減らし、ブロックチェーンドメインネームシステム (DNS) を簡素化します。

「RIF の私たちのビジョンはシンプルです。必要なプロトコル、ツール、ライブラリを構築することで、RIF フレームワークは RSK とビットコインテクノロジーの大量採用を促進します。暗号資産の主な課題の1つは、ユーザーが管理したり覚えるのが難しい複数のアドレスとのやり取りを期待されることです。RIF 名称サービスマルチ暗号 (Name Service Multi-Crypto) により、消費者はさまざまなネットワーク間で資産を完璧に移動でき、RIF のセキュリティ標準を守りながら主流の採用を保持できます。私たちは自信を持って、仮想通貨、ブロックチェーン、dApp スペースの利点を犠牲にすることなく、これらのテクノロジーの利用可能性を向上させるのに役立つ基盤の構築を開始いたします。」と、Gabriel Kurman、RIF 戦略家は述べています。

複数のブロックチェーンが独自のトークンを生成し、異なるアドレスを

生成するという問題を解決するために、RIF 名称サービスマルチ暗号（Name Service Multi-Crypto）が開始されました。RIF 名称サービスマルチ暗号（Name Service Multi-Crypto）を使用することにより、マルチチェーン解決システムは、それぞれ独自のブロックチェーンのアドレスを、1つのダッシュボードから管理できるRIFの単純で読みやすいテキストまたは名前のアドレスに変換します。システムの下では、異なるプラットフォーム上で構築されたトークン間の相互運用性がユーザーに提供されますが、複数のコインをサポートし、ブロックチェーン管理プロセス全体を合理化するウォレットのように、すべてのトークンとデータが1つのアプリに表示されます。

「RNS マルチ暗号（Multi-Crypto）は世界で唯一のサービスであり、ユーザーはあらゆるプラットフォーム上に構築されたアドレスを解決することができ、同時に異なるプラットフォーム上に構築されたトークン間の相互運用性が向上し、同時にセキュリティを強化し、エラーの可能性を大幅に減らします。この展開は、業界内の技術的進歩を推進するだけでなく、すべての人が利用できるようにするという当社の継続的な取り組みを紹介しています。」と、プロダクトリードのAlejandro Banzas氏は述べています。

詳細およびドメインの登録については、RIF 名称サービス（Name Service）<https://www.rifos.org/rif-name-service/>をご覧ください。

IOV Labsと組織によって開発されたプラットフォームに関するさらなる情報については以下をご覧ください

RIF Labs / IOV Labs - <https://iovlabs.org>
RIF OS プラットフォーム - <https://rifos.org>
RSK プラットフォーム - <https://rsk.co>

IOV Labs 概要

IOV Labsは、世界規模での金融包摶を可能にし、この最新技術と大規模採用の間のギャップを埋める、新たなブロックチェーン・ベースの金融システムに必要なプラットフォームの開発に焦点を当てた、目的志向の組織です。この組織はRSKスマートコントラクトネットワークとRIF OSプラットフォームを開発しました。総ビットコインハッシュレートマージマイニングが30%以上あるRSKネットワークは、世界で最も安全なスマートコントラクトプラットフォームです。

RIF OS プロトコル は一連のオープンかつ分散型のインフラストラクチャプロトコルであり、これは、BitcoinとRSKの大量採用を可能にする統合環境における分散アプリケーション（dApps）のよりスピーディで容易かつスケーラブルな開発を実現します。 RIF OS プロトコルには、RIFディレクトリ（ネームサービスプロトコル）、RIFペイメント（チェーンを使用しない支払いプロトコル）、RIFデータ（データストレージおよびストリーミングプロトコル）、RIF通信（安全なルーティング、セッション、暗号化通信プロトコル）、およびRIFゲートウェイ（クロスチェーン転送とオラクルサービスを含む相互運用性プロトコル）があります。